

前売券: 1 作品 500 円

※チケットは各回指定券です。
※鑑賞される作品のチケットをお買い求めください。
当日料金(大人) 800円 ※中学生以下は500円

前売券販売先

- 呉信用金庫ホール
- 新日本造機ホール

全席
自由

お問い合わせ:

沖縄返還50周年・映画上映実行委員会
TEL・FAX (0823)-71-4889
携帯 090-8065-0118

沖縄返還50周年

平和

について考える



日時: 8 月 22 日 (月)

- ① 「対馬丸—さようなら沖縄—」 10:30～
- ② 「返還交渉人—いつか、沖縄を取り戻す—」 13:30～

※開場は、各回上映開始の30分前

会場: 新日本造機ホール
(くれ絆ホール)

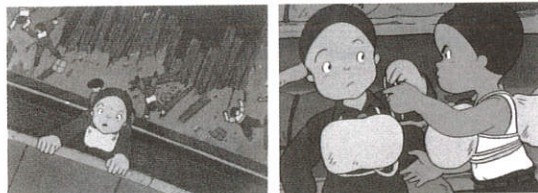


©対馬丸製作委員会



©NHK

10:30～「対馬丸 一さようなら沖縄」上映



75分

監督: 小林治
原作: 大城立裕

【1982年/日本/アニメーション】 ©対馬丸製作委員会

STORY 昭和19年夏、太平洋戦争が激しくなると、日本軍は本土決戦に備え、沖縄のこどもたちを学童疎開させる命令を出しました。こどもたちは大人の心配をよそに「本土で雪が見れる」などとはしゃぎます。疎開船「対馬丸」は8月21日那覇を出航。22日夜、米潜水艦の魚雷攻撃を受け、多くのこどもたちが対馬丸と共に、一瞬のうちに沈んでしまいます。主人公キヨシの運命は…。

「対馬丸遭難事件」は1,661人の乗客のうち、生存者わずか156人という惨事です。犠牲者は罪もない学童や幼い子、一般人ばかりという、他に類をみない悲劇でしたが、戦後まで知らされませんでした。沖縄は太平洋戦争で唯一地上戦が繰り広げられ、多くの市民が犠牲になったところで、人々は「疎開に行くも地獄、残るも地獄」という窮地に立たされていたのです。

ドキュメンタリー小説「対馬丸」は、1961年に初版を出しましたが、あまり売れませんでした。それから20年をへて、これを原作とするアニメが作られたということに、歴史のひとつの皮肉を感じます。その必然性が生まれた背景が、何であるかを考えないわけにいきません。

こんな作品を見る必要のない平和な時代が来ることを心から願っています。

原作者 大城立裕

13:30～「返還交渉人 いつか、沖縄を取り戻す」上映



出演: 井浦新 戸田菜穂 佐野史郎
大杉漣 石橋蓮司

語り: 仲代達矢

監督: 柳川強

原案: 宮川徹志

100分

「僕は沖縄を取り戻したい
異色の外交官・千葉一夫」
(岩波書店刊)

日本アカデミー賞他
国内映画賞34部門受賞作品

【2018年/日本】 ©NHK



「理想を求めずして、何の外交でありましょうや ——」

1972年5月15日、沖縄返還。

日本のプライドをかけたアメリカと闘った外交官、「千葉一夫」を知っていますか？

STORY 沖縄返還で外交交渉の最前線にいた実在の人物、千葉一夫。戦後、外交官となった千葉は、本土から切り離され、アメリカの統治下にあった沖縄から核兵器を撤去させ、ベトナム戦争の出撃拠点としないよう、アメリカと激しい外交交渉を重ねた。さらに何度も沖縄に足を運んで、人々の苦悩に真摯に耳を傾けた。立ちほだかる本土の思惑に挫折しかけながらも、妻・恵子に支えられ、「鬼の千葉なくて沖縄返還なし」と称された伝説の外交官が生涯をかけて貫いたものとは——。

2010年の外務省の「密約問題」調査により、今までは見ることでなかった返還当時の外交資料がほぼ全て公開された。資料を読み解くと、対米交渉・対沖縄折衝の両面で1人の外交官が大きな役割を担ってきたことが初めて判った。本作は、アメリカの理不尽な圧政に「怒り」、沖縄の現状に「泣いた」、黒衣の外交官である千葉の存在を非公開資料や遺族への丹念な取材から掘り起こした、宮川徹志の「僕は沖縄を取り戻したい 異色の外交官・千葉一夫」を原案にして、沖縄返還交渉の裏面史を骨太に描いたNHKドラマに、新たな映像を加え再編集した劇場版として上映が実現しました。



(徒歩でお越しの方)

◆JR呉駅より 蔵本通りを北進→JR呉駅から徒歩約15分

(車でお越しの方)

◆広島方面より31号線経由

国道2号線→国道31号線→昭和橋西詰交差点を左折
→約600m市役所前左折

◆竹原方面より

国道185号線→休山新道(トンネル)

→本通5丁目健やかセンター前交差点を右折

→約300m市役所前右折

◇新日本造機ホール(くれ絆ホール)の専用駐車場はございません。
呉市宮蔵本駐車場をご利用ください。

※市役所駐車場の平日利用は、ご遠慮ください。
(市役所に用務で来られる市民にご迷惑となるため)

☆チケット購入時のお願い

新型コロナウイルス感染拡大防止措置のため、チケット右側に、お名前と連絡先(電話番号)のご記入をお願いいたします。

万が一感染者が発生した場合など、必要に応じて保健所等の公的機関へ提出する場合があります。

☆感染症対策についてのご協力のお願い

新型コロナウイルス感染症の流行状況によっては公演を中止する場合があります。

発熱や咳・咽頭痛等の症状がある方や、2週間以内に感染拡大している地域や国へ訪問歴がある方は入場できません。

入場の際は、マスクの着用と手洗い、消毒にご協力願います。

会場内では人と人の距離を確保し、会話はお控えください。体調に異変を感じたらすぐに申し出てください。



—安心して映画をご覧いただく為、皆さまのご理解とご協力をお願いいたします—